



王国に集める者となる 教会員用

「それらの束は、無駄にならないように倉に納められるであろう。」アルマ 26 : 5



出席者に対して、天の御父の王国に集める者となるとはどういう意味かについて、これから一緒に話し合うことを説明します。わたしたち一人一人は、幕の両側にいる自分の家族を集めるという重要な役割を担っています。そうする中で、各自が救いの計画において、それぞれの役割を果たします。ディスカッションを進める際、この概要を活用してください。

集会をする前に、この概要で使用されるビデオを前もってダウンロードしておくといよいでしょう。

1. ビデオ

ビデオ「A Sacrifice of Time (時間を捧げる)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次の質問に対する答えに耳を傾けるように出席者に言います：ネルソン会長は、わたしたちに何を行うように勧めていますか。

2. ディスカッション

ネルソン会長は、わたしたちに何を行うように勧めていますか。(ネルソン会長は会員に、家族歴史活動と神殿の業に時間という犠牲を捧げるよう勧めています。)

この質問に回答する人は、教義と聖約 128 : 15 を引用するかもしれません。だれかが犠牲について言及するまで、出た答えをホワイトボードに書きます。

ネルソン会長はこう言いました。「わたしは皆さんに祈りの気持ちでお勧めいたします。今年、家族歴史活動と神殿の業をさらに実践するために何を犠牲にしたらよいか、恐らく時間の犠牲が望ましいですが、そのことについて考えてください。」

3. ビデオ

ビデオ「Gatherers in the Kingdom (王国に集める者となる)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次のことについて出席者に深く考えてもらいます：ネルソン会長が次のように述べたとき、その言葉はどのような意味だったのでしょうか。「わたしたちは主の聖約の民です。主はわたしたちを頼りにしておられます。」次の短いビデオクリップを視聴し

ながら、この質問を絶えず心に留めておいてください。七十人のブラッドリー・D・フォスター長老は、ネルソン会長のお話しについて自身の見解を述べています。

4. ディスカッション

「わたしたちは主の聖約の民です。主はわたしたちを頼りにしておられます。」という言葉は、あなたにとってどのような意味がありますか。

誓約の民であるわたしたちの役割について、ビデオの中でフォスター長老が教えている事柄について話します。

(だれかが「集める者」について言及するまで、出席者の答えをホワイトボードに書くとよいでしょう。)

幕の両側にいる家族を集める業における、わたしたち個人の役割とは何でしょうか。

以下の原則について必ず話し合うようにしてください：

- 幕の両側にいる家族を集めることで、わたしたち一人一人がすべての神の子供たちのための救いの計画において役割を果たすことができる。
- 教会員として、まずわたしたち自らが行動しなければならない。先祖の名前を見つけ、その名前を神殿に提出してそこで施される儀式を受けられるようにし、さらにほかの人々にも同じことをするように教える。

- 神殿と家族歴史の業に参加するとき、わたしたちは現在生きている家族と幕の向こう側にいる家族の両方に祝福をもたらす。

5. 基本原則

集める活動 — 家族の責任

下の図について確認します。

- わたしたちと家族は、天の御父の計画において、集める者です。
- 第一の集合場所は家庭です。家族は家庭で学び、家族の思い出を分かち合い、その情報を紙面の家系図やオンラインのファミリーツリーに記録します。テクノロジーが利用できてもできなくても、究極の家族歴史センターは家庭にあります。
- 一旦ファミリーツリーに集められた家族は、その後、神殿の聖約と儀式に安全に集められます。

6. ビデオ

ビデオ「Families Gathering Families (家族は家族を集める)」を視聴する準備をします。ビデオの視聴しながら、次の質問について深く考えてもらいます：わたしたちは今、何をすべきでしょうか。また、どのような助けを得られるでしょうか。

7. ディスカッション

神に託された責任を果たすために、わたしたちは最近提示された次の2つの勧めについてよく考える必要があります：

1. 新たな改宗者を含め、最初の4世代をまだ記録していない会員は、ファミリーツリーでそれを完成させるよう努め、可能であれば神殿に持参してください。

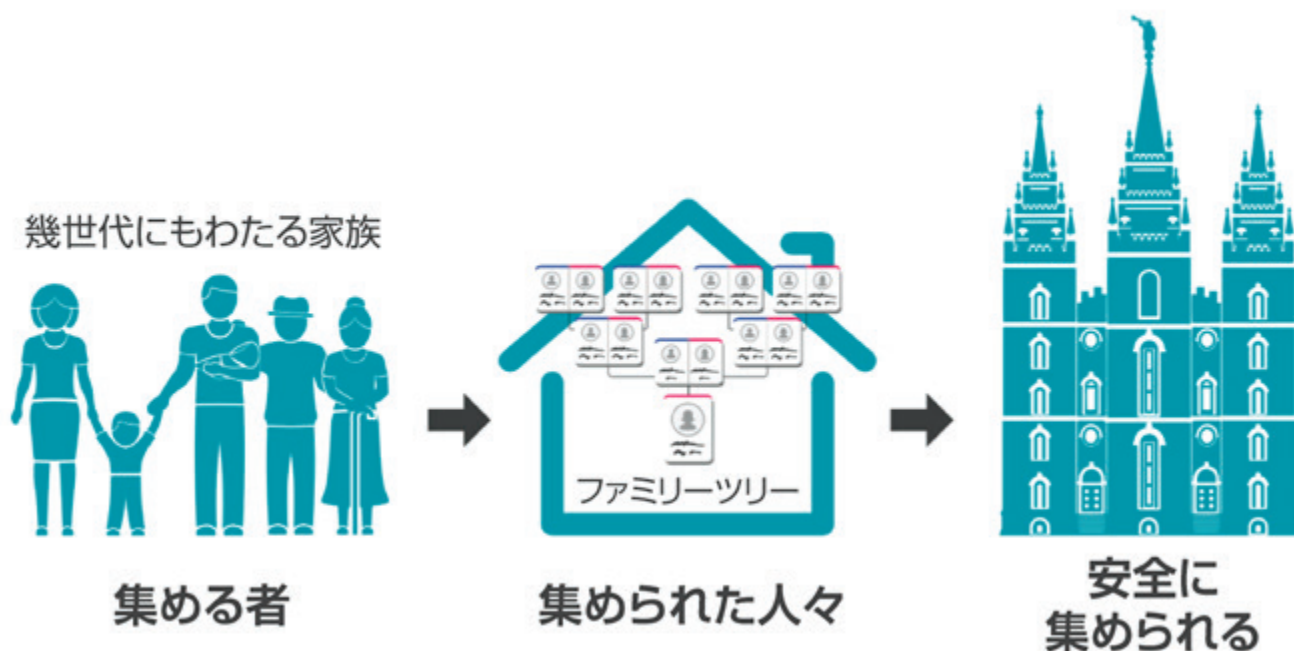
最初の4世代をファミリーツリーにまだ記録していない人は、どのようにして始めればよいでしょうか。この業によって、新会員はどのような祝福を受けられると思われませんか。

2. すでに最初の4世代を完成させた会員は、親類を含め、もっと多くの家族を探し続けてください。

助けを得るために、どのようなツールやリソースが利用できるでしょうか。

グループの人々に、神殿と家族歴史の奉仕に役立つ、利用可能なツールを挙げてもらいます。以下のようなツールが考えられます：

- 神殿・家族歴史相談員
- わたしたち自身の家族の思い出
- 小冊子『わたしの家族—わたしたちを一つにする思い出』
- FamilySearch.org のようなオンラインツール



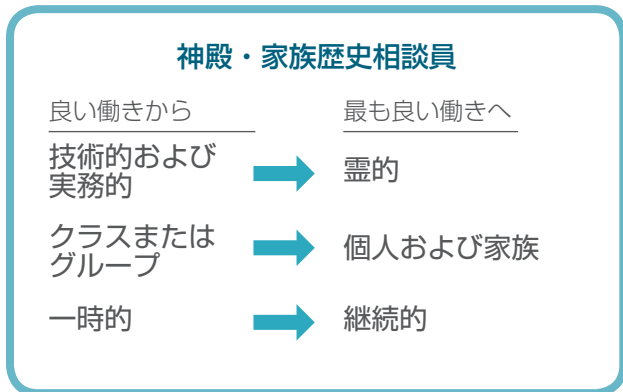
- ・ 祈りの力
- ・ 聖霊からの助け
- ・ 幕の向こう側からの助け

最近、家族歴史の召しにおいて奉仕する人々の名前が変更されました。現在、彼らは皆、神殿・家族歴史相談員と呼ばれます。

すべての神殿・家族歴史相談員の第一の責任は、ほかの人々が自分の先祖を見つけ、その名前を神殿に提出し、さらにそのほかの人々にも同じことをするように教えるに当たって、御霊に従う方法を学び、神殿に焦点を当てるように助けることです。この務めは、その人の状況に合わせて個人的に行われるべきです。

大管長会がこの変更を行った理由は何だと思えますか。皆さんにとって、この変更はどのような意味がありますか。

こうした責任に焦点を当てることで、神殿と家族歴史の取り組みが、単に良い働きから最も良い働きへなるようにする必要があります。



わたしたちの神殿・家族歴史相談員は、皆さんを助けるためにここにいます。

安息日の礼拝において、「集める」活動はどのような役割を果たすでしょうか。

家庭や教会で、どのように神殿と家族歴史の業を行うことができるでしょうか。それによって会員が安息日をより有益に過ごし、天の御父の戒めを尊ぶことでもたらされる祝福を得られるように、どのように助けられるかについて話し合います。

8. ビデオ

ビデオ「Promised Blessings of Family History (家族歴史からもたらされる約束された祝福)」を見せる準備をします。わたしたちが自分の親族を見つけ、彼らの名前を神殿に提出し、ほかの人々にも同じことをするように教えるとき、多くの力強い祝福が約束されています。

出席者に次のように尋ねます：これらの祝福のうち、自分自身と自分の家族のために望むのは、どの祝福だろうか。

9. ディスカッション

これらの祝福のうち、自分自身と自分の家族のために望むのは、どの祝福だろうか。神殿と家族歴史の業からもたらされる祝福を享受するために、今すぐ何を行いますか。会員に、これまで学んだことをどのように応用しようと思っているか、話してもらいます。時間が許す場合は、出席者に、神殿と家族歴史の業に携わることから得た個人的な経験を分かち合ってもらいます。

10. まとめ

レッスンを終える際に、基本原則やディスカッションで印象深かったアイデアについて触れてもよいでしょう。神殿と家族歴史の業が、どのように個人と家族に祝福をもたらすのか証を分かち合います。